

土砂防 だより



夏富士と雲（富士宮市）

全国治水砂防協会静岡県支部通常総会	2
(一社)全国治水砂防協会通常総会	3
土砂災害防止月間の取組	4
・急傾斜地パトロールの実施	
・みんなで防ごう土砂災害～街頭キャンペーン～の実施	
土砂災害・全国防災訓練を実施	6
平成30年度砂防関係事業の代表的な完成箇所	7
「門島地区」地すべり災害の復旧の軌跡	9
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12

特集 第74回全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会

「土砂災害防止月間」の取組 「土砂災害・全国防災訓練」を実施

全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

静岡県支部通常総会を開催



原田支部長の挨拶

5月22日（水）、全国治水砂防協会静岡県支部の令和元年度（第74回）通常総会を静岡市内で開催し、県内の市町長、各土木事務所長が出席されました。

開会にあたり、支部長の原田袋井市長が、約7割が山地である本県には18,581箇所と多くの土砂災害危険箇所があることに触れ、頻発する土砂災害から県民の生命・財産を守る土砂災害対策では、施設整備の推進とともに、ハザードマップの作成や防災訓練等のソフト対策が重要であり、砂防協会による啓発活動、会員相互の連携及び国や県との協調を訴えました。

続いて、来賓の難波副知事、中沢県議会副議長、国土交通省砂防部の石塚砂防施設評価分析官、（一社）全国治水砂防協会の岡本理事長（当時、現副会長）より御祝辞をいただき、県内3つの砂防直轄事務所長の紹介の後、議案の審議が行われ、平成30年度の事業報告と収支決算報告、令和元年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。



難波副知事の挨拶



中沢県議会副議長の挨拶

役員の変更結果

支部総会で役員の変更（案）が承認され、令和元・2年度の役員が決定しました。

支部長：原田英之 袋井市長

副支部長：須藤秀忠 富士宮市長、菊地 豊 伊豆市長

会計監査役：鈴木敏夫 川根本町長、岡部克仁 南伊豆町長

委員：田辺信宏 静岡市長、鈴木康友 浜松市長、豊岡武士 三島市長、小野達也 伊東市長、
中野弘道 焼津市長、太田長八 東伊豆町長、池谷晴一 小山町長、太田康雄 森町長

顧問：宮尾総一郎 静岡県交通基盤部長

常任幹事：木村尚之 静岡県河川砂防局技監

土砂災害防止講習会を開催

総会終了後に、土砂災害対策講演会を開催し、石塚砂防施設評価分析官には「土砂災害を防ぎ 命とくらしを守る」、岡本理事長（当時、現副会長）には「昨年の災害から」と題し、昨年の全国で頻発した土砂災害の発生状況、市町長や行政担当者の対応とその検証、ソフト対策についての取り組みなどについて講演をしていただきました。

さらに、静岡どぼくらぶの取り組みと静岡土木事務所による「エンテイクんのヒーローショー」を紹介したところ、出席者からすばらしい取り組みであり、各地域で実施してほしいとの声をいただきました。



石塚砂防施設評価分析官の講演



岡本理事長（当時、現副会長）の講演



エンテイクんのヒーローショー

全国治水砂防協会通常総会が開催される

5月30日(木)、(一社)全国治水砂防協会の令和元年度(第83回)通常総会が砂防会館で開催されました。当日は、多くの国会議員とともに、全国から約550名に上る会員（市町長）が出席され、当支部からは、支部長の原田袋井市長をはじめ10名の会員に御出席いただきました。

綿貫会長による挨拶の後、議案の審議が行われ、平成30年度の事業報告と収支決算報告、全国の砂防関係事業の拡充・促進を図る令和元年度の事業計画と収支予算等が原案どおり承認されました。

また、総会開会に先立ち、東京大学大学院情報学環の片田敏孝特任教授による「荒ぶる自然災害に向かい合う～平成30年7月豪雨にみるこれからの防災」と題した特別講演が行われました。

お忙しい中、御参加いただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



綿貫会長の挨拶



片田特任教授の講演

本県の参加市町

袋井市、富士宮市、伊豆市、南伊豆町、川根本町、東伊豆町、森町、河津町、三島市、西伊豆町
（計10市町）※太字は本人参加



総会の様子

令和元年度 「土砂災害防止月間」

6月1日(土)～30日(日)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。国土交通省と静岡県では、梅雨前線等により雨量が多く、地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすくなる6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の取組
- みんなで防ごう土砂災害～街頭キャンペーンの実施～
- 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催
- 「土砂災害・全国防災訓練」の実施 など

平成30年に発生した土砂災害件数

H30年土砂災害発生	土石流	地すべり	がけ崩れ	計	死者・行方不明者
全国土砂災害発生件数	985	131	2,343	3,459	161
静岡県土砂災害発生件数	20	1	19	40	0



立看板の設置（静岡県庁本館正面玄関）

～関係機関や地域住民、砂防ボランティアとの協働～

1 急傾斜地パトロールの実施

急傾斜地崩壊危険区域において、市町や警察、消防等の関係機関、地域住民や砂防ボランティアと連携し、急傾斜地崩壊防止施設の異状の有無や法面の崩壊、排水路の機能状況等を点検する急傾斜地パトロールを実施しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、施設の修繕や応急的な対策を実施していきます。



急傾斜地パトロールの状況（下田市）

2 市町等における広報活動の取組

市町や土木事務所において、土砂災害防止の広報活動として、広報誌やホームページ等への掲載、庁舎の横断幕や懸垂幕等の掲示、公用車へのマグネットシートの貼付、ラジオ放送やポスターの掲示などに取り組んでいただきました。



懸垂幕掲示（富士宮市）



令和元年度 土砂災害防止月間ポスター

の取り組み

広報誌への掲載	下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、三島市、函南町、清水町、長泉町、富士宮市、富士市、焼津市、川根本町、菊川市、湖西市、砂防課（14市町）
インターネットを活用した広報	南伊豆町、長泉町、島田市、焼津市、砂防課（4市町）
横断幕、懸垂幕、立看板の掲示	河津町、南伊豆町、西伊豆町、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、富士宮市、牧之原市、川根本町、磐田市、掛川市、菊川市、森町、御前崎市、浜松市 砂防課、熱海土木事務所、沼津土木事務所、静岡土木事務所、袋井土木事務所（16市町）
土砂災害防止講習会の開催	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、沼津市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、富士宮市、富士市、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、森町、浜松市、湖西市（25市町）
ラジオ、テレビ放送	ラジオ放送：島田市、砂防課 テレビ放送：下田市、三島市、富士市、焼津市、静岡市、砂防課、下田土木事務所（5市）
ポスター掲示	各市町関係機関、県内ミニストップ約155店舗、砂防課、各土木事務所

3 みんなで防ごう土砂災害～街頭キャンペーンの実施～

6月21日（金）にJR静岡駅改札口前コンコースで「土砂災害防止月間」街頭キャンペーンを実施し、県と国土交通省静岡河川事務所、静岡地方気象台、静岡市の職員26名が、通勤・通学等されるみなさまに「日頃の備え」と「早めの避難」を呼びかけました。

「ふじっぴー」や「エンテイクン」、静岡地方気象台の「はれるん」も登場し、リーフレットや啓発グッズを配布しました。

これは、6月15日（土）に予定していた「みんなで防ごう土砂災害～砂防フェスティバル2019～」が荒天により中止になったため、これに代わる広報活動として初めて取り組んだものです。



街頭キャンペーンの様子



「ふじっぴー」や「エンテイクン」も登場

「土砂災害・全国防災訓練」を実施

～ 「避難の声掛け、安全の確認」 ～

土砂災害による犠牲者を無くすため、6月2日(日)の全国統一日を中心に、「土砂災害・全国防災訓練」を実施しました。

これは、6月の「土砂災害防止月間」の取組の1つとして、土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識向上を図ることを目的に、土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な避難訓練を実施するものです。

本年は、昨年全国各地で発生した甚大な土砂災害の教訓を生かし、より実効性のある訓練として「避難の声かけ、安全の確認」をキャッチフレーズに、地域内での声かけによる避難や、安全を確認する訓練を重点的に行いました。

統一日には、27市町で地域住民や関係機関など約2,200人が参加し、避難勧告に伴う住民や要配慮者等の避難訓練を行うとともに、ハザードマップで危険な区域や避難場所、安全な避難路を確認するなど、自助・共助による防災意識を高めました。また、訓練終了後に、県・市職員による土砂災害防止講習会を実施しました。

また、統一日以外に8市町で避難訓練を行う計画であり、県内すべての市町で訓練を実施し、昨年を上回る約3,100人の参加人数となる見込みです。

訓練参加市町

◆6月2日(日) 27市町

下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、函南町、長泉町、富士宮市、富士市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、川根本町、磐田市、袋井市、菊川市、森町、浜松市

◆6月2日(日)以外 8市町

伊豆市、清水町、小山町、静岡市、吉田町、掛川市、御前崎市、湖西市

訓練の状況



手作りHM
(6月2日:下田市)



講習会
(6月2日:松崎町)



声掛け
(6月2日:焼津市)



声掛け
(6月2日:裾野市)



手作りHM
(6月2日:川根本町)



炊き出し訓練
(6月2日:袋井市)



土嚢作成
(6月2日:東伊豆町)



要配慮者訓練
(6月2日:熱海市)



避難訓練
(6月2日:函南町)



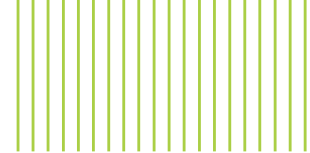
声掛け
(6月2日:浜松市)



冠水避難支援訓練
(6月2日:藤枝市)



手作りHM
(6月2日:富士市)



平成30年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所

砂防事業

やとざわ
●谷戸沢砂防堰堤工（裾野市深良地先）



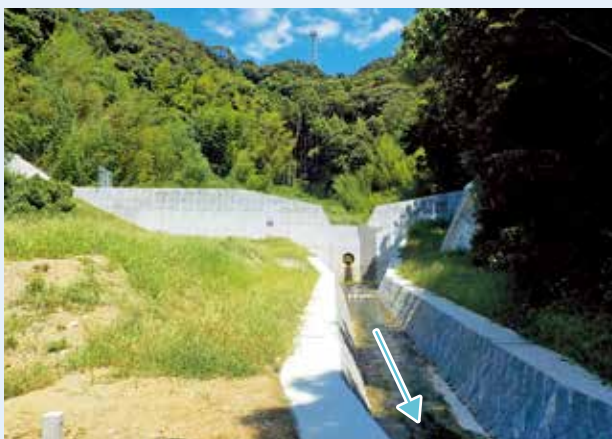
谷戸沢では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家10戸の保安全をを図りました。

かわさかざわ
●川坂沢砂防堰堤工（富士市岩淵地先）



川坂沢では、砂防堰堤1基を整備し、下流域の人家102戸及び保育園の保安全を図りました。

なかざわ
●中沢砂防堰堤工（牧之原市中地先）



中沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家5戸及び県道の保安全を図りました。

ほんむらざわ
●本村沢砂防堰堤工（磐田市上野部地先）



本村沢では、砂防堰堤1基を整備し、人家58戸の保安全を図りました。

●砂防事業

※平成30年度に工事を実施し、完成した箇所

箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
谷戸沢	沼津土木	裾野市深良	250	H24	砂防堰堤工 H=8.0m、L=43.5m
川坂沢	富士土木	富士市岩淵	160	H25	砂防堰堤工 H=11.5m、L=45.0m
中沢	島田土木	牧之原市中	132	H26	砂防堰堤工 H=10.5m、L=76.0m
本村沢	袋井土木	磐田市上野部	80	H27	砂防堰堤工 H=9.1m、L=44.5m
青谷沢	浜松土木	浜松市天竜区青谷	100	H26	砂防堰堤工 H=10.0m、L=46.0m

急傾斜地崩壊対策事業・地すべり対策事業

くさなぎとうご

●草薙東護擁壁工 (静岡市清水区草薙 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として法面工を実施し、人家17戸の保全を図りました。

わらびの

●蕨野擁壁工 (静岡市葵区蕨野 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工を実施し、人家9戸と主要地方道梅ヶ島温泉昭和線の保全を図りました。

いえ やま し お も と

●家山塩本擁壁工 (島田市川根町家山 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工を実施し、人家10戸と主要地方道藤枝天竜線の保全を図りました。

よこ やま ひ が し

●横山東擁壁工 (浜松市天竜区横山町 地内)



急傾斜地崩壊対策工事として擁壁工を実施し、人家8戸の保全を図りました。

●急傾斜地崩壊対策事業

※平成30年度に工事を実施し、完成した箇所

箇所名	事務所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
大淵椋窪	富士土木	富士市大淵	88	H27	法面工 L=67m
関の沢	静岡土木	静岡市葵区梅ヶ島	422	H21	擁壁工 L=300m
蕨野	静岡土木	静岡市葵区蕨野	261	H23	擁壁工 L=257m
草薙東護	静岡土木	静岡市清水区草薙	280	H24	法面工 L=143m
家山塩本	島田土木	島田市川根町家山	176	H26	擁壁工 L=191m
両島瀬林	浜松土木	浜松市天竜区両島	810	H19	擁壁工 L=781m
横山東	浜松土木	浜松市天竜区横山町	407	H21	擁壁工 L=210m
大谷	浜松土木	浜松市天竜区大谷	196	H24	擁壁工 L=215m

※地すべり対策事業は完成箇所無し

「門島地区」地すべり災害の復旧の軌跡

1. 住民通報～住民避難

平成25年3月21日に斜面上部の茶畑に亀裂が発見され、約ひと月後の4月23日には崩壊土砂量約12万㎡に及ぶ大規模な斜面崩壊が発生しました。亀裂発生時の第一報をいただいた直後から住民・浜松市・県の緊密な連携による地すべり監視体制や警戒避難体制を構築し、浜松市の適切な避難勧告の発令により、人的被害を防ぐことができました。

変状発見(住民通報)

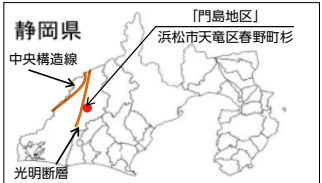
平成25年3月21日



地すべり変動の監視



住民への情報伝達



住民への情報伝達

区分(レベル)	警戒の水位
レベル1 注意	47m以上
レベル2 警戒	50m以上
レベル3 避難準備	52m以上
レベル4 避難	54m以上

坑地の観測機器からアラームメールを住民に送信
↓
迅速で確実な避難

2. 崩壊発生～応急対応

崩壊発生後、一級河川杉川の埋塞による湛水や土砂ダム決壊による二次災害の発生を抑止するため、応急の仮排水路に着手し、地権者や地元建設業者、国土交通省の御協力により、丸一日で完成することができました。

国土交通省・土木研究所の職員による技術的助言及び人的・物的支援



崩壊発生

平成25年4月23日



河川埋塞による湛水



仮排水路完成後の通水



3. 対策工事の概要

緊急の地すべり対策等については、学識者等から技術的な助言をいただくとともに、国土交通省に災害関連緊急地すべり対策事業や河川災害復旧事業の採択を迅速にいただき、速やかに実施することができました。その後の対策につきましても国の補助事業等により、順調に対策工事を進めることができました。

検討委員会の開催



	日時	主な検討内容
第1回	2013.5.1	監視体制の強化
第2回	2013.5.16	地すべり対策の方針
第3回	2013.7.16	地すべり対策の実施計画
第4回	2016.1.22	対策工事の効果の判定

完成写真



完成写真



住民皆様との記念植樹



4. 完成式の開催(平成31年3月22日)

地すべり災害対策工事の完成により、当地区の安全・安心の向上が図られたことを地域の皆様と祝うため、平成31年3月22日に、浜松市と県の共催で完成式を開催しました。

当日は、地元選出の国会議員、県議会議員をはじめ、国土交通省、地元住民など約80名の方にご出席いただき、盛大に開催することができました。

完成記念行事



川勝知事による現地視察

平成31年3月13日



警戒避難体制の説明会を各地区で開催

5月13日(月)から5月24日(金)にかけて、県の土木事務所と地域局、市町の担当職員を対象に、土砂災害に対する警戒避難体制の説明会を各地区で開催しました。

この説明会は、土砂災害防止法に基づく警戒区域の指定と市町による警戒避難体制の整備を推進するために、毎年雨期前に行っています。砂防課から土砂災害防止法の区域指定と警戒避難に関する留意点、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定等について説明しました。また、土木防災課から水位周知河川について、静岡地方気象台から土砂災害警戒情報の概要や新たに運用を開始する防災気象情報の5段階の警戒レベルと住民が取るべき行動などについて説明がありました。



警戒避難体制の説明会（下田土木事務所）

「第12回親子で大谷崩の森づくり」が開催される

6月8日(土)に、「第12回親子で大谷崩の森づくり」が大谷崩（おおやくずれ：静岡市）で開催されました。

当日は、静岡市内の親子や静岡県立科学技術高校の生徒ら約80名が参加され、大谷崩の山腹に現地の自生種であるヤシャブシやヤマハンノキの苗木を植樹しました。

大谷崩は、鳶山崩れ（とんびやまくずれ：富山県）と稗田山崩れ（ひえだやまくずれ：長野県）とともに日本三大崩れの一つに数えられる安倍川上流の大崩壊地で、国土交通省静岡河川事務所により床固工や山腹工等の直轄砂防事業が進められています。



植樹作業の状況



大谷崩をバックに記念写真

環富士山火山防災連絡会総会が開催される

6月3日(月)に、富士山周辺の静岡県・山梨県の16の市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、富士河口湖町中央公民館で開催されました。

総会では、平成30年度事業報告、富士山火山防災対策協議会との連携や国・県に対する要望活動などの令和元年度事業計画が承認されるとともに、役員交代があり、会長に富士河口湖町長、副会長に三島市長が選出されました。

その後、山梨県富士山科学研究所の藤井敏嗣所長による「富士山の将来の噴火に備えて」の演題で研修会が行われました。



総会の様子

国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会を開催

6月4日(火)に、「国土交通省直轄砂防事務所・県砂防課合同打合せ会」を、静岡県庁で開催しました。合同打合せ会は、県内の直轄砂防事務所である静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所と県砂防課が、本年度の事業計画や最新の取組み、連絡事項等を情報共有し、各機関の円滑な事業実施を目的に毎年開催しています。

今回の合同打合せ会では、各機関によるICT工事や防災教育、県が取り組む航空レーザー測量による3次元点群データの活用などについて、情報の共有を図りました。



打合せの様子

第37回土砂災害防止「全国の集い」in神奈川が開催される

6月6日(木)～7日(金)に、第37回土砂災害防止「全国の集い」in神奈川が神奈川県横須賀市で開催されました。

今大会は、『怖いのは地震だけ? 恐ろしい土砂災害～“いのち”を守るあなたの行動～』をテーマに、特別講演やパネルディスカッションが行われ、ポスターセッションでは、本県の「門島地区地すべり災害対策工事の完成」について紹介しました。

2日目の現地研修会では、箱根町の「早川砂防環境整備事業」と「須沢砂防工事」について、神奈川県西土木事務所小田原土木センター職員から説明がありました。

また、連携行事として「第20回砂防ボランティア全国の集い」が開催され、砂防ボランティア活動等功労者表彰として、本県から元砂防課長の棚田博人氏が受賞されました。



ポスターセッションの様子



現地研修の様子（早川砂防環境整備）



砂防ボランティア活動等功労者表彰（棚田氏）

市町等砂防担当職員研修を開催

6月14日(金)に、市町等の砂防・防災担当職員を対象に、土砂災害に関する防災気象情報や「危険度分布」を確認できるウェブサイトなどの実践的な研修を、静岡地方気象台と共同で県庁東館のOA研修室で開催しました。

研修には、17市町と県の担当職員32人が出席し、静岡地方気象台土砂災害気象官から「静岡県の気象と防災気象情報」について、砂防課から県のウェブサイトで公開している「土砂災害警戒情報補足情報システム」について説明を行った後、パソコンを操作し避難勧告の発令を想定した危険度の判定などの演習を行いました。

本格的な雨期に入り土砂災害が発生しやすくなることから、参加者からは、「システムを用いた演習があったため、理解が深まった」、「今後も研修の継続を希望する」など、多くの貴重な意見や感想が寄せられました。



静岡地方気象台土砂災害気象官の説明



「土砂災害警戒情報補足情報システム」の活用演習

【令和元年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきありがとうございます。



募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も、土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止についての理解と関心を深めるため、絵画・作文を募集します。

【募集対象】小・中学生 【応募期間】6月1日(土)～9月15日(日)

【応募方法】作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。

【応募先】〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 砂防班

TEL (054) 221-3044 FAX (054) 221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



ジオフォーラム 2019 IN 静岡

【日 時】令和元年11月1日(金) 10:00～16:15

【会 場】しずぎんホール ユーフォニア

※全国治水砂防協会静岡県支部が協賛しています。

参加
無料

令和元年 8-12月
砂防関係の
主な行事

8月28日(水)～30日(金) 市町長等砂防事業県外視察(北海道)

9月 1日(日) 防災の日

10月16日(水) 東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議(浜松市内)

11月19日(火) 全国治水砂防促進大会(砂防会館)

11月19日(火) 静岡県支部砂防関係事業促進要望(議員会館等)

11月 下旬 市町等砂防担当職員現場研修



【表紙写真】

夏富士と雲(撮影地:富士宮市)

檀林 正浩さん(静岡県沼津市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集・後記

6月21日(金)に、JR静岡駅改札口前コンコースで実施された「土砂災害防止月間」街頭キャンペーンに参加しました。「ふじっぴー」や「エンティくん」と一緒に通勤・通学等の皆さんにリーフレットや啓発グッズを配布し、土砂災害防止対策についての広報を初めて行いました。

土砂災害を防ぐ取り組みについて、わかりやすい広報に努めますので、今後とも「砂防だより」をご愛読いただきますよう、よろしくをお願いします。全国治水砂防協会静岡県支部 事務員 舟原真美

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>